



原子力産業新聞

2013年10月17日

平成25年(第2691号)

毎週木曜日発行

購読料1年分前金(消費税、国内送料込)

会費 9,500円(1部220円)

非会費 15,000円(1部350円)

(当会会費は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門琴平タワー9階 郵便振替 00150-5-5895
電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ http://www.jaif.or.jp/ メールアドレス shinbun@jaif.or.jp

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

汚染水問題でIAEA 協力強化へ 海洋監視や情報発信

天野事務局長 経産や規制委などと相次ぎ会談



IAEAの天野之弥事務局長は九日、日本政府関係者らと国内で会談を行い、福島第一発電所事故の汚染水問題への取組を評価するとともに、引き続き全面的に協力していく意向を示すなどした。

シヨンの重要性認識のもと、IAEA海洋環境研究所の活用等による的確なモニタリング実施とともに、世界への情報発信にも協力する用意があることを述べるなど、天野氏は支援の考えを示した。また、天野氏は、九日に岸田文雄外務相、十日に田中俊一原子力規制委員長らを訪れ(II写真)、それぞれ、北朝鮮やイランの核問題、汚染水対策に関して会談を行ったほか、今回来日に際し、福田とIAEAとの間で原子力人材育成に関する協定文書に署名が行われるなど、日本とIAEAとの協力強化に向け進展があった。

中長期の取組み重要

サイクルなど 原子力委員見直し

第六回原子力委員会の在り方見直しのための有識者会議が十日に開催された。原子力委員会の今後の方向性について論点を整理し、原子力委員会に役割に関してメリハリをつけ実効的に対応できる体制を構築するという方向性でたたき台がまとめられ、議論を行った。

汚染水、抜本解決など

経団連が提言 国際社会の懸念払拭も

日本経済団体連合会は十五日、今後のエネルギー政策のあり方に関する提言をとりまとめ公表した。提言は政府の成長戦略の実現にあたり「事業活動の維持や新規投資の前提となるエネルギーが、経済性のある価格で安定的に確保される必要がある」とし、当面の重要課題として、まず福島第一原子力発電所

における汚染水問題の根本的解決を取り上げ「福島県の復興・再生に不可欠」とし「国が前面に立つて抜本的な対策を講じる旨の基本方針を政府が決定したことは高く評価でき、今後の着実な実行が強く求められる」とした。また海洋環境での放射性物質のモニタリング、情報公開の徹底で国内のみならず国際社会の不安を払しょく、風評被害の防

安倍首相、汚染水問題に全力で

臨時国会で所信

十五日の臨時国会開会に際し、安倍首相は、「基準値を大幅に下回っている」とも明言した。その上で、廃炉や汚染水対策を「全力でやり抜く」として、国が前面に立つて責任を果たしていく決意を改めて述べた。

や長期的な取組みと異なるバックエンドを含めた核燃料サイクルや放射性廃棄物の処理・処分、またアルトリウム利用の透

汚染水の当面の

対策などを報告

規制庁に東電

東京電力福島第一原子力発電所での汚染水漏れについて、東京電力は十五日に、再発防止策などをまとめて原子力規制庁に報告した。報告書では、タンク堰(せき)内にたまる汚染された雨水の処理に伴う人員不足などを原因に挙げた上で、作業員増強や、タンクなどを管理する専門部署を創設するといった対策が盛り込まれた。

CO2排出2・9%増と増加傾向

12年度実績

経済産業省と環境省との合同の地球温暖化に関する審議会が十一日、エネルギー転換部門の対策について、両省より報告を受けるなどした。その中で、経産省は、震災以降のエネルギー起源CO2排出量が増加傾向にあり、一三年度は、前年度比二・九%増、一〇年度比では七・五%増に達しており、電力分野でも、原子力発電所の停止

現場担当者最終的には二百人増強する方針を示した。今後、漏洩などが発生した際は、追加的に人員投入する。

ガラス固化技術

開発施設が竣工

日本原燃

日本原燃の六ヶ所再処理事業所敷地内に建設されたガラス固化技術開発施設(II写真)が十五日しゅん工した。今後、実機と同じ大きさの改良型モックアップ試験炉を設置し、今年十一月以降、模擬廃液を使って、改良炉の性能確認を中心とした試験を実施し、再処理工場しゅん工後のガラス固化技術のさらなる信頼性向上を図ることになっている。

この一週間の出来事

(10日(木)~16日(水))

- ・ASEAN関連会議が終了(10日)
- ・東京で真夏日記録、東電利用率95%(11日)
- ・世界工博会議が韓国・大邱で開催(13日)

原産新聞の紙面から

◇国内ニュース

- ・鹿児島で原子力総合防災訓練実施(2面)
- ・学術会議が海外アカデミア交え原燃議論(2面)
- ・仏産業界が廃炉技術協力に期待(2面)
- ・清水建設が3次元線量予測システム開発(4面)

◇海外ニュース

- ・米規制委、10日から一部の業務を停止(3面)
- ・米国とベトナムが原子力協定に調印(3面)
- ・英国のABWR審査、2017年に完了へ(3面)

MITSUBISHI 三菱電機
Changes for the Better

限りあるエネルギー資源を、未来へつなげるために。

- タービン発電機
- 発電所計装制御システム
- 開閉装置
- 系統制御システム
- 受配電システム

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル) TEL 03-3218-2311

家庭から宇宙まで、エコチェンジ

三菱電機株式会社